

地球温暖化防止

食品工場におけるCO₂排出削減

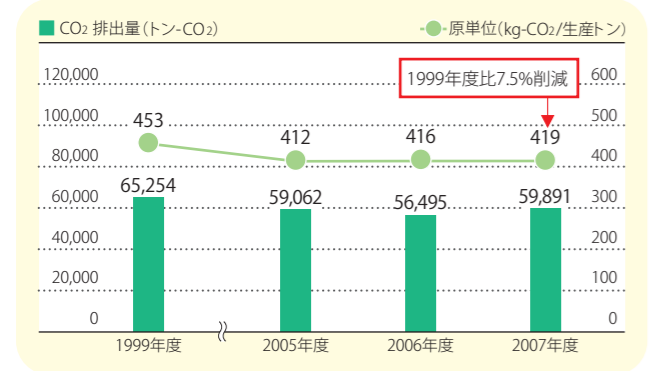
主に加熱調理のために使用される燃料や商品の冷凍時に使用される電力の利用に伴ってCO₂が排出されます。ニチレイグループの食品工場では、1999年度を基準として生産トン当たりのCO₂排出量(以下原単位)の削減に取り組んでいます。

2007年度の取り組み結果および今後の方針

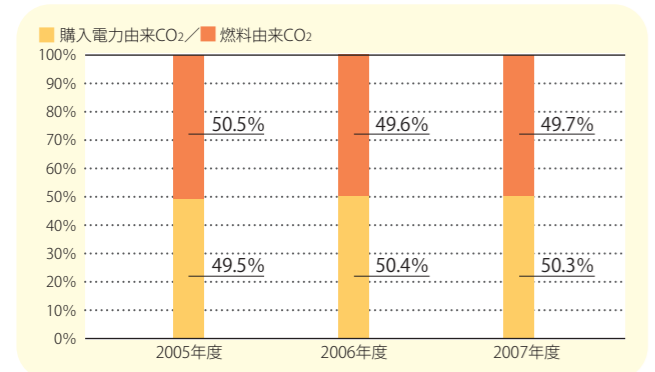
2007年度は、廃油ボイラーの導入拡大、設備導入時の省エネルギー対応などを実施しましたが、品質保持のための低温化や検査設備の増強などにより、原単位は増加しました。

今後も引き続き省エネルギー機器・省エネルギー技術の導入や新エネルギーの活用検討、設備管理の徹底などを推進し、CO₂の排出削減に取り組んでいきます。

食品工場のCO₂排出量



購入電力使用と燃料使用に由来するCO₂の割合



電気やフロンを使用しない空調設備の導入

(株)ニチレイフーズ白石工場では、従来の電気を主動力源とする冷凍機ではなく、水が蒸発する際に周囲から熱を奪う気化現象を利用した省エネルギー・ノンフロン型の冷却設備を導入しました。

これにより年間85千kWの電力削減を見込んでいます。



気化熱により空気を冷やす装置

廃食用油の再利用

(株)ニチレイフーズ船橋工場では、揚げ物などをした後に排出される廃食用油を濾過し、ボイラー燃料と混合して再利用しています。食用油は大豆や菜種を原料としており、石油などの化石燃料の使用量を削減することで、CO₂の排出削減につながります。

この取り組みは(株)中冷に続く事例に当たり、今後さらに他工場への展開を検討しています。



廃食用油を処理し燃料を混合する装置

物流センターにおけるCO₂排出削減

物流センターにおけるエネルギー消費は、保管している食品の品質保持のための電力消費がその大部分を占めます。ニチレイロジグループでは、省エネルギー法の対象となるエネルギー使用量の大きい物流センター(指定工場)を中心に、省エネルギー活動を継続しています。

2007年度の取り組み結果および今後の方針

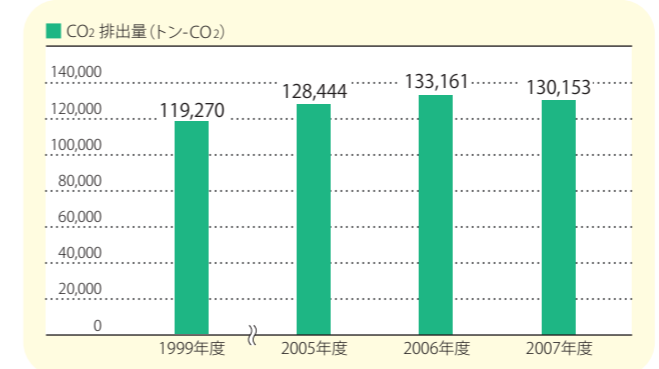
物流品質強化のため、低温室の能力増強などを進めるなか、2007年度は、冷蔵室内の照明を高効率型照明器具に切り替えるなどのエネルギー削減対策を実施したことで、CO₂排出量を2006年度比で削減しました。

今後、効率運転などの活動を継続するとともに、さらに省エネルギー機器への切り替えなどを進めていきます。

物流センターの主なエネルギー削減対策

- 冷却設備の効率運転の継続
- 高効率型照明器具への切り替え
- 外気侵入防止のための設備改修
- 事務所における節電活動 など

物流センターのCO₂排出量(購入電力由来分)



高効率型照明器具の開発、導入

(株)ニチレイ・ロジスティクスエンジニアリングでは、省エネルギー効果の高い低温用蛍光灯器具を電機メーカーと共同開発しました。反射板の性能を高め、従来型の照明器具に比べ1.7倍の照度が得られるため、照明器具の設置台数を減らし、省エネルギーを図ることができます。ニチレイロジグループの物流センターにおいても、既存の照明器具の切り替えや、新設センターへの導入を進め、CO₂の排出削減につなげています。



切り替え前の倉庫内



切り替え後の倉庫内



開発した照明器具

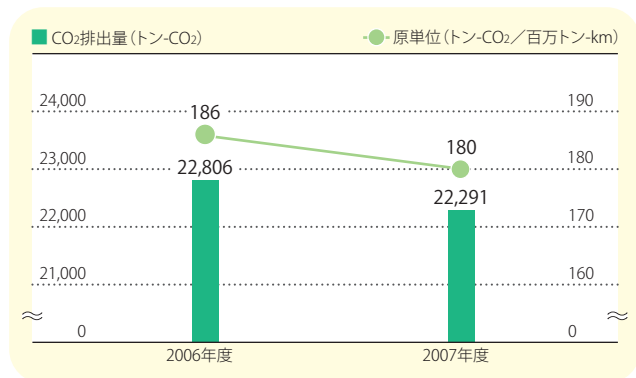
物流におけるCO₂排出削減

——ニチレイフーズの取り組み

(株)ニチレイフーズは、荷主として省エネルギー法で定められた基準※を超える自社商品輸配送を委託しており、重点課題の一つに商品輸配送時のCO₂排出削減を掲げ積極的に取り組んでいます。

ニチレイフーズの商品輸送におけるCO₂排出量

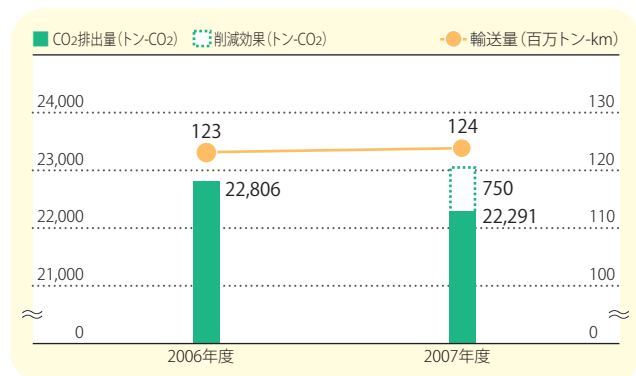
※年間輸送量3000万トンキロ以上



モーダルシフトと配送共同化の推進

(株)ニチレイフーズでは、鉄道・船舶へのモーダルシフトの推進と配送の共同化を進め、輸送トンキロ当たりのCO₂排出量の削減に取り組んでいます。2007年度は、約750トンのCO₂排出削減効果を実現しました。

輸送トンキロとCO₂排出削減効果



CO₂削減効果: 対策を実施しなかった場合に排出が想定される量

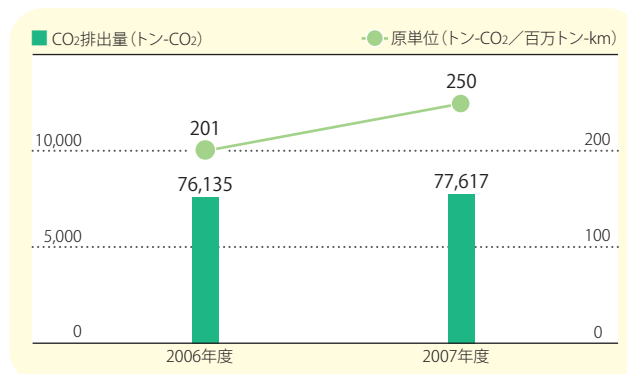
また、2007年から実施した四国地区における共同配送では、3社合計で約28%のCO₂排出削減効果が出ています。

物流におけるCO₂排出削減

——ニチレイロジグループの取り組み

ニチレイロジグループは、「食品物流をいかに効率化するか」ということを最も重要な責任として認識し、物流提案業務を通じて、コスト削減とともにCO₂排出削減に取り組んでいます。2007年度は、中国製冷凍餃子農薬混入事件が輸配送事業にも影響し、輸送量(トンキロ)当たりの排出量は増加しました。

ニチレイロジグループ受託物流に伴うCO₂排出量



※物流共同化などを進めることにより新規受託に結びつくこともあるため、活動により総量が増加する場合もある。

協力会運送会社のグリーン経営認証取得の拡大

(株)ロジステクス・ネットワークでは、協力会運送会社のグリーン経営認証取得の拡大に向け、エコドライブ講習会および認証取得に向けた研修会を各地域で開催しています。

安全運転・省燃費運転などに関する講習のほか、実際にコースを試走して省燃費運転を体感してもらい取り組みを通じて、運送事業のレベルアップをめざしています。また、優良ドライバーに対する表彰制度も実施しています。



講習の様子